

平成28年第13回中津川市教育委員会（定例会）議事録（要旨）

日 時 平成28年12月21日（水） 午後1時30分

場 所 にぎわいプラザ 4-1 会議室

出席委員 小栗 仁志 田島 雅子 小幡 隆徳
林 由美 大井 文高

事務職員 早川事務局長・大巾文化スポーツ部長・原教育次長兼学校教育課長
今井事務局次長兼教育企画課長・末木文化スポーツ部次長
西尾教育研修所長・小椋幼児教育課長・足立子育て政策室長
山下発達支援センター所長・西尾阿木高等学校事務長
吉村施設計画推進室長・二村図書館長兼蛭川済美図書館長
川合文化振興課長兼市史編さん室長・川上鉱物博物館長
糸魚川生涯学習スポーツ課長・宮嶋中央公民館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 議 事
4 閉 会

番 号	議 題	結 果
議第32号	平成29年度中津川市立小中学校教職員の人事異動方針について	承 認
議第33号	中津川市教員住宅管理規則の一部改正について	承 認
議第34号 (追 加)	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について	承 認

【開 会】

【議 事】議事に入ります。日程第1、議第32号 平成29年度中津川市立小中学校教職員の人事異動方針について、提案説明をお願いします。原教育次長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

【委員長】ご意見、ご質問ありましたらお願いします。田島委員。

【田島委員】新任、中堅、ベテランの方がおられます。大体何年くらい同じ学校におられるんでしょうか。

【委員長】原教育次長。

【教育次長】教諭は最大7年です。初任者は3年研修をして、また次の学校も3年の計画配置となります。

【委員長】そのほかご意見、ご質問ありましたらお願いします。田島委員。

【田島委員】初任ではない先生の一日の動きを教えてください。授業と、放課後どれぐらいの時間で皆さん帰っていらっしゃるかとか。

【教育次長】学校によって違ってきますが、8時前後の出勤です。それから子どもたちを迎えて、小学校ではほとんど3時ぐらいまで、休憩、給食をはさんで授業をします。中学校ではほとんど4時ぐらいです。中学校は教科担任制ですので、空き時間等があって、約1時間ですが、1日1時間空く先生もいれば2時間空く先生もいます。中には全部詰まっているときも曜日によってはあります。基本的には5時前後に勤務が終了します。その後、明日の授業の準備や学年のいろいろな話し合いなどがあります。それが超過勤務になります。中津川市は小中で若干違いますが、月に平均40時間から50時間超過勤務をしています。岐阜県の超過勤務も約1日2時間弱と聞いています。中津川市の超過勤務の時間は岐阜県とほぼ同じだと思っています。

【田島委員】クラブ活動の話は出てきませんでした。休みの日にクラブ活動は中学校ではありますか。また、外部講師を使ってみえるかどうか教えてください。

【教育次長】クラブ化になっているところがありますが、基本的には顧問として参加することもあります。部によってはクラブ化になっていて、そのクラブの指導者がやっているところもありますが、どれだけかは土日出ています。

【田島委員】クラブ化というのが理解できません。

【教育次長】クラブ化というか、地域の方々が指導者となってやっていて、基本的には部活ですが、そこに指導者を招いてやっているんですけど、クラブ化というのは言い方が悪かったかもしれませんが、たとえば野球やサッカーのクラブチームもあって、部活とはかけ離れたところでやっている子どもたちもいます。そこについては、客観的にボランティアとして参加したりすることもあります。クラブの指導者たちが主になっていると思っています。いずれにしても、地域の指導者と教職員が協同してやっていくということで、話し合いを進めながらやっているのが実情

です。

【委員長】大井教育長。

【教育長】よくクラブ活動と言ってしまうのですが、クラブ活動と言っているのは小学校で、たとえば取り組む種目を設定しながらそれを子どもたちが選んで活動するというものです。中学校で言っているのは部活動で、これは教育課程の中で位置付けられているものです。基本的には教育課程ですので、あり方としては授業日に取り組むことになっているわけですが、どうしてもそれだけでは進んでいかないので、土曜日あるいは日曜日に設定して教員がつくケースもあります。こういう場合は教員に対しての手当が出ます。それとは全く別の組織としてクラブチームという動き方があります。これが、ほとんどの部活動と、参加する子どもたちが一緒にやりながら同時進行で動くようなケースもありますし、参加する子どもがまた別枠で動く場合もあります。そういったところがあいまいになっているのが今課題になっているところだと思っています。

【田島委員】よく子ども金メダルの授与式に来てくださる、野球やサッカーとか名前のついているクラブ、それがクラブ活動ということで、大井教育長がおっしゃった授業の延長というものが、学校のクラブ活動ですか。先生が司るクラブということですか。

【教育長】部活動です。

【田島委員】それは必ず子どもたちが入らなければいけないものなのですか。

【委員長】原教育次長。

【教育次長】基本的には学校が定めておりますが、どこかの部活に入って力を付けていくということがあるかと思っています。文化系のクラブもあります。運動能力を必要としない部分も大事なところですよ。どこかで所属意識をもってやり遂げる、成功感を味わう、あるいは失敗を味わうということも大事だと思います。負けやすくやささを味わうということを教育活動の中で進めていきたいと思っています。

【田島委員】そこに指導に行く先生方には手当が付くということで、時間外手当ということにもなるわけですね。学校の部活だと先生方の負担がとてまたくさんになるんじゃないかということで、自分の時間がなくなるんじゃないかという心配をしています。

【教育次長】超過勤務に加えて非常に土日の負担が多くなることがあります。部活動をやっている、同じ部員がクラブに所属していることもあります。たとえばこの時間までは部活動で、その後、クラブということで指導者が来て指導することもあります。そうすると、学校の教職員は若干負担増はなくなったりするんですが、見放すということはできないと思います。土日でも、部活＝クラブという形をとっています。そうした場合はどれだけか地域の指導者がイニシアティブをとってやってくださるので、その分教職員の部活の顧問は、部活とクラブが一体のところもある

んですが、若干軽減されるということはありません。今後そうした地域の人たちがどんどん出てきて、指導者になっていって、一緒にやっていくということが望まれると思っています。

【田島委員】一人の人の時間がたくさん取られてしまって自分の生活がなくなってしまう、自分の家族に対しての負担が高くなれば、その人自身のストレスも高くなります。そうしたらまた子どもたちにも影響するというのは良くないことですが、中津川市には中京学院がありますので中京学院の生徒さんたちに、名古屋などでは大学の生徒さんたちも学校のクラブ活動の指導に入っているという話を聞いていますので、できるだけ地域の指導者や若い指導者が入り易いようにして、少しでも先生方の負担が軽くなっていくといいと思いますので、よろしくお願いします。

【教育次長】その通りで、勤務時間の縮減もそうですし、ブラックな職場ということだと、いい若い教員が集まりませんので、そこはとても大事なところだと思います。

【委員長】そのほかよろしいでしょうか。小幡委員。

【小幡委員】部活に関して、自分の思いの中では、部活指導手当を支給するという、いわゆる超過勤務のようなことはほとんどなかったと思うんですが、今は部活動手当を支払うような時間、先生方を部活動に使うということはあるんですか。どれぐらいの使われ方をしているか分かったら教えてください。

【教育次長】どれだけ出ているかは今ここにデータを持っていませんが、私ももらっていましたし、出ています。十分な金額ではないですが、少しずつ上がってきておりますが、4時間につきどれだけという形で出ていると思います。

【小幡委員】普通の勤務時間の中では、月曜日から金曜日の中ではないということですね。土曜日、日曜日に部活動をやる場合には4時間を超す場合があるということとで、支払うことがあるということですか。

【教育次長】原則としてそう認識しています。

【委員長】そのほかよろしいでしょうか。田島委員。

【田島委員】教員の方々について、悩みはたくさんあると思うんですが、3大悩みぐらいを教えてください。

【教育次長】特にデータがあるわけではないので推測の範囲で申し上げます。1つ目はやはり目の前にいる子どもの成長に関わることだと思います。いろいろな子どもさんがいるので、一人一人をどう伸ばすかということだと思います。2つ目は悩みというか、いつも気を使わなければいけないということでは、安全安心についてです。事件が起きないか、事故が起きないか、命に関わることはないかということでは、いつも気に留めなければいけない、付いて離れないことだと思います。3つ目は、保護者との信頼をどう得るか、構築していくかということです。教諭サイドではその3つが大きな悩みであろうと推測されます。

【田島委員】多分人事異動するときには個々の面接があつて、その方の都合や悩みを聴いていきながら人事異動の案を練るんだと思いますけど、特にデータの的なものがないのであれば、たとえば保護者対応などは大変重要なことですので、子どもたちをケアすることも重要ですが、家の方々が子どもたちを育てているので、これから一番大事なことです。子どもたちではなく親との折衝の中でその教職員が心の悩みを持ってしまうこともあり得ることです。3つ出してくださったことは非常に大事なことであつて、できれば形にしてこれからの対応の仕方を作っていくのは大事なことはないかと思うんですけど、いかがでしょうか。

【教育次長】その通りだと思います。教員の立場に立つとすると、一人の教職員が持っている悩み、不安、ストレス、そうしたメンタルのものについてはつかまなければいけないと思います。アンケートでつかむというよりも、教職員の人事懇談を各校長とやるんですが、その前に校長が一人一人と面談をして、一人一人の悩みをつかんできてくれます。そのことを校長との人事懇談の中で、特にこの教員はこういうことで不安を抱えているので配慮していく必要があるとか、こういう点で伸ばしていきたいのでお願いしたいというような話し合いを人事懇談の中で進めているところです。そこから一人一人の悩みを吸い上げたいと思っています。

【委員長】そのほかよろしいでしょうか。小幡委員。

【小幡委員】人事異動方針の中で、学校の活性化や人材の育成を目指していくことがうたわれています。今までずっとこの会議のたびに質問してきたような気がするんですけど、異動対象になる先生の、田島委員がおっしゃるような悩みや願い、組織の中での問題もあるでしょうし、先生としてどうこれから自分を高めていこうかという考えや悩みもあるでしょうし、そういったことにきちんと向き合っていたら、その代わる先生が行った先で本当に目的意識をもって自分を精一杯伸ばせるという、こういうことで頑張るといふような意識をもたせて代わってもらうということをぜひお願いしたいと申し上げてきました。次長の話の中でも、一人一人の先生、有用感をもって代わっていただくということを校長との中で詰めていきたいとおっしゃっていただきましたので、大変安心しております。ぜひ学校にとってもその先生にとってもすばらしい異動であった、結果として良かったと言えるような異動になるように精一杯頑張っていたきたいと思います。

【委員長】そのほかよろしいでしょうか。

ないようですので、日程第1、議第32号 平成29年度中津川市立小中学校教職員の人事異動方針については承認とさせていただきます。

続きまして、日程第2、議第33号 中津川市教員住宅管理規則の一部改正について、提案説明をお願いします。今井事務局次長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

【委員長】ご意見、ご質問をお願いします。田島委員。

【田島委員】 5 ページの中津川市教員住宅 201 と 202 が苗木の学童クラブとして使用されるということですか。改装はしないんですか。

【委員長】 今井事務局次長。

【事局次長】 今年度の予算で改装計画を立てておりますので、年度内に改装させていただくことになっています。

【田島委員】 それと、落合の解体する 401、402、405 は、土地はどこのものなのでしょうか。

【事局次長】 もう解体してありますが、土地は市の土地で、住宅が建っている間は教育委員会管理になっておりましたが、更地になっていきますので、一般行政財産として、市長部局に管理移管しました。

【委員長】 そのほかよろしいでしょうか。

私から質問します。現在の教員住宅の戸数と、入居率が大体で分かれば教えてください。

【事局次長】 本来調べておくべきところですが、手元に数字がないので後程お伝えします。

【委員長】 そのほかよろしいでしょうか。林委員。

【林委員】 これを見ると、とても家賃が安くて、もし快適に住めるなら先生たちはとてもいい環境で、地域に赴任された場合はいいかなと思うんですけど、実際はどれだけかの期間でここを見に行って、ちょっとこれは古いとかここは直すとかそういうことをされているんですか。

【事局次長】 値段を安くということは、主に今配置しているのは、いわゆる旧郡部のところですよ。旧市内にもありましたが老朽化が進んで、大体計画通り解体が進んだということです。旧郡部はなぜ安いかというと、合併前からの流れなんですけど、遠くから先生をお呼びするという姿勢もありましたので、そういった環境ではコスト面で負担をかけないようにという配慮で金額が抑えてあり、それを変更せず、そのまま地域で活躍をしていただきたいという願いからです。

管理については、それぞれ 3 月末で出ていかれる先生もあります。その際に担当の者が建物の中まで入らせていただいて状況を確認して、修繕の必要なところは手を加えていくということです。

【委員長】 そのほかご意見、ご質問ありましたらお願いします。

私からもう一つ質問します。勝手な推測ですが、築年数が大分古いのではないかなと思っております。今後中津川市の教員住宅は、どんどん築年数が古くなっていくわけですが、どういう方向性になるのでしょうか。今井事務局次長。

【事局次長】 市は大変多くの施設を持っています。全体に老朽化が進んでいます。その例に漏れず教員住宅も老朽化が進んでいます。市長部局ともいろいろ話をしました。現状として、新しい施設を建築するのは難しいことから、教員住宅もそれに

沿うことになってきます。今ある空き家などを活用した中で教員住宅の代わりにそういったものを配置することは必要であれば進めていくということで、市長部局とも協議を進めた経緯もありますので、今後はそういった形で、必要であればそういった空き家を求めて、そこを再整備するという進め方になると思います。

【委員長】空き家の今後の活用はすごく大切なことだと思っています。中津川に限った話ではなくて、全国的に高齢化に伴って空き家が増えてきて、その管理をどうするのかということ、国も税制優遇をする中で本腰を入れているということもありますので、新しいものを建てるということではなく、そういったものを有効活用することを、教員住宅も市の職員住宅もそうかもしれませんが、ぜひ率先して行っていただきたいと思います。そのほかご意見、ご質問ありますか。

ないようですので、日程第2、議第33号 中津川市教員住宅管理規則の一部改正について、を承認とさせていただきます。

続いて、本日配布の追加議案に入ります。日程追加、議第34号 中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について、提案説明をお願いします。糸魚川課長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

【委員長】ご意見、ご質問をお願いします。田島委員。

【田島委員】ホールとロビーとおっしゃいましたが、ロビーが図書室ですか。

【委員長】糸魚川生涯学習スポーツ課長。

【生ス課長】ロビーが図書室を兼ねています。

【田島委員】奥に蔵書がありますか、それも図書室に入っていますか。

【生ス課長】奥は第2図書室です。それは24年の改修で設置しています。

【委員長】そのほかよろしいでしょうか。田島委員。

【田島委員】図書室には学童に行っていない子どもたちが図書室のあたりで親を待っているのが、福岡の公民館ではたくさん見受けられるので、一番寒い時期なので早く直してあげてください。

【委員長】私から一つ質問します。今回の改修工事の完了予定はいつごろですか。

【生ス課長】業者と話した中では2カ月ほど期間が必要ということです。2月末です。

【委員長】そのほかよろしいでしょうか。

ないようですので、日程追加、議34号 中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について、を承認とさせていただきます。ほかよろしいでしょうか。今井事務局次長。

【事務局次長】先程ご質問いただきました教員住宅の入居可能な戸数と現在入居している戸数ですが、入居可能な戸数は50戸で、現在入居している戸数は43戸で、7戸が空いております。

【委員長】議案は以上です。次回の開催日をお願いします。今井事務局次長。

【事局次長】次は1月19日木曜日午後1時30分からこの会議室で行います。

【委員長】次回は平成29年1月19日木曜日、13時30分からここ4階会議室で開催します。

本日が今年最後の教育委員会となります。少し早いですが、皆様方にとりまして健やかな新年となることを心より祈念します。来年もぜひよろしくお願いします。

以上で平成28年第13回中津川市教育委員会を閉会します。

【閉 会】

〔 閉 会 （午後2時43分） 〕